

令和5年度末「こども園・幼稚園の自己評価」

評価基準(当てはまるいずれかに○をつける)	
1: はい (あてはまる) 2: どちらかといえば、あてはまる 3: どちらかといえば、あてはまらない 4: いいえ (あてはまらない)	園名 おおひらこども園 評価 (%)

整理番号	項目	NO	項目内容	1	2	3	4
1	園の経営と運営	1	こども園・幼稚園の理念や基本方針が園児・家庭・地域の実態から立案されている。	80	20	0	0
2		2	目標は、幼児の実態に即し、実践につながるよう具体的な内容になっている。	85	15	0	0
3		3	職員は、常に公平で温かい態度・言葉遣い等で子どもに接し、信頼関係を築いている。	75	25	0	0
4		4	職員間の報告・連絡・相談が円滑に行われている。	65	30	5	0
5		5	園務分掌は実践しやすいよう、責任・役割分担が明確になっている。	90	10	0	0
6		6	分掌事務は決められた期限内に正確に処理されている。	75	25	0	0
7		7	資質向上に結びつく研修が行われている。	70	30	0	0
8		8	子どもの実態や願いを生かした教育・保育に心がけ、柔軟性を持たせている。	75	25	0	0
9		9	子どもへの指導・支援の記録内容は、全職員が共有できるしくみになっている。	55	40	5	0
10	教育・保育計画と指導内容	1	教育・保育計画の作成にあたっては、できるだけ全職員が関わり、基本方針を理解している。	55	40	5	0
11		2	指導計画には、園の特色や地域を生かした行事を取り入れている。	75	20	5	0
12		3	障害の特性を考慮した個別指導計画が立てられている。	60	30	10	0
13		4	教材研究を十分行い、用具や材料は、ねらいや活動内容に即して準備している。	75	25	0	0
14		5	子どもの発達状況や実態に応じて保育・指導計画の作成・評価・見直しを行っている。	70	30	0	0
15		6	子どもの自発的な活動を引き出し、ねらいを達成できるような指導・支援をしている。	75	25	0	0
16		7	日々の教育・保育の記録を取り、次の指導・支援に生かしている。	75	25	0	0
17		8	短児部・長児部の特性に応じた保育・指導計画になっている。	65	35	0	0
18		9	小集団活動が行われるよう、保育室や園庭等の使い方を工夫している。	80	20	0	0
19		10	異年齢児間の交流の時間や場が確保されている。	60	35	5	0
20		11	伸び伸びと行動し、必要な習慣や態度を身につけられるよう健康・安全に配慮している。	80	20	0	0
21		12	身近な人々と親しみ、約束を守って関わり合いながら楽しく活動できるよう配慮している。	65	35	0	0
22		13	自然や動物に触れたりするなど、地域や社会に関わる体験が取り入れられている。	65	30	5	0
23		14	人の言葉や話をよく聞き、思いや考えを伝えられるよう指導・支援している。	75	25	0	0
24		15	歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮している。	70	30	0	0

整理番号	項目	NO	項目内容	1	2	3	4
25	安全・環境・健康	1	万が一に備えて、危機管理マニュアルは、活用できるよう整備され、共通理解されている。	70	30	0	0
26		2	非常事態の連絡、報告体制が整っている。	80	20	0	0
27		3	定期的に避難訓練や引き渡し訓練を実施している。	100	0	0	0
28		4	遊具や施設の安全点検を行い、安全管理に努めている。	100	0	0	0
29		5	子どもが快適に過ごせるような環境(清潔さ、採光、換気、照明等)への配慮がなされている。	75	25	0	0
30		6	子どもが主体的に活動できる環境構成(おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど)がなされている。	75	25	0	0
31		7	感染症等の予防や蔓延を防ぐ手立てが整備されている。	90	10	0	0
32		8	アレルギー疾患についての必要な知識や情報について、共通理解されている。	90	10	0	0
33		9	代替食・除去食を提供する場合は、他の子どもたちとの相違に配慮している。	80	20	0	0
34	家庭や地域との連携	1	家庭への連絡や降園時の連絡をきめこまかく行っている。	85	15	0	0
35		2	事故や問題が起きた場合、保護者への説明や対応は、素早くかつ的確に行っている。	90	10	0	0
36		3	機会をとらえ、家庭や地域の人々に園に親しんでもらえるような活動、行事等を行っている。	70	25	5	0
37		4	地域の人材、施設、自然などを教育・保育に取り入れている。	60	35	5	0
38		5	保護者等からの子育て相談について、進んで対応している。	85	15	0	0
39		6	活動内容や園の対応に関する保護者等からの要望等に対して、丁寧に応じている。	80	20	0	0
40		7	保護者等からの要望等に対応するためのマニュアルの作成や、研修を行っている。	50	45	5	0

《考察》

○すべての項目において、1(あてはまる)・2(どちらかといえばあてはまる)の割合が高い結果が見られました。しかし、3(どちらかといえばあてはまらない)がつけられた項目も見られます。また、『4・職員間の報告・連絡・相談』『9、10・全職員が共有、共通理解』は、昨年度からの課題でもあります。職員間での情報共有については、迅速かつ確実にできるよう、さらなる改善工夫に努めて参りたいと思います。

○『19・異年齢児交流』は、戸外遊びにおいては自然な形で交流することができましたが、室内ではクラス単位での活動が中心となっている状況です。異年齢児との関わりの中での学びを大切に、今後は室内でも交流できる時間と場所を設けていきたいと思います。『22・自然・地域社会にかかわる体験』『37・地域の人材活用』についても、家庭や地域の協力を得ながら、子ども達が様々な経験ができるようにしていきたいです。